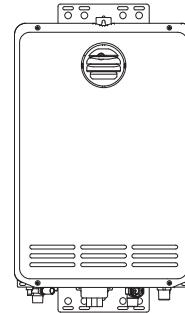


ガス給湯器

133-P500型

型式名：PH-EM164EWHL(OG)



取扱説明書

保証書付

BL認定部品

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
- この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」の裏表紙が「保証書」になっています。保証期間、保証内容などを確認のうえ、大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスまでお問い合わせください。

99大阪ガス

もくじ

はじめに

リモコンでできること（リモコンがある場合）	2
各部のなまえ	3
各部のなまえ（別売リモコン）	4
必ずお守りください	7
使用前の準備と確認	13

使いかた

リモコンなしの場合

お湯の出しかた	14
---------	----

台所リモコン：138-P051型 浴室リモコン：138-P053型をご使用の場合

お湯の出しかた	15
給湯温度を調節するには	16
優先スイッチの使いかた	17
操作確認音の消しかた、鳴らしかた	18
湯はりコールの使いかた	19

台所リモコン：138-P052型 浴室リモコン：138-P054型をご使用の場合

お湯の出しかた	21
給湯温度を調節するには	22
優先スイッチの使いかた	23
お湯はり中のお湯を自動で停止させる 〔オート止水〕	25
お湯はりの温度を調節するには	27
お湯はりの湯量を調節するには	28
呼び出すには	29
音声ガイドの音量を調節するには	30
操作確認音・お知らせ音の 音量を調節するには	31
チャイルドロックを設定するには	33

上手に使って長持ちさせるには

点検とお手入れ	34
故障かな？と思ったら	37
凍結を防ぐには	40

仕様/アフターサービス

仕様	43
保管とアフターサービス	45
保証書	裏表紙

リモコンでできること（リモコンがある場合）

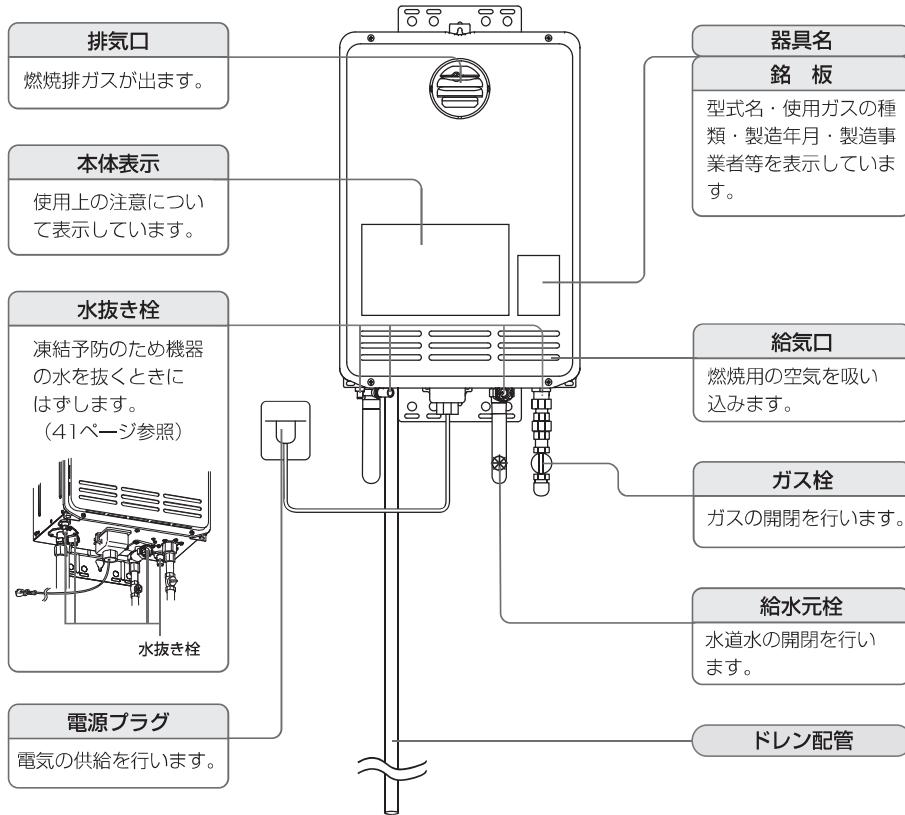
リモコンの種類によって、それぞれ使用できる機能が違います。
次の表でお使いのリモコンで使用できる機能を確認してください。

機能	対象リモコン 台所リモコン 138-P051型 浴室リモコン 138-P053型	台所リモコン 138-P052型 浴室リモコン 138-P054型
お湯を出す	○	○
湯はりについて 設定湯量になると おしらせする （湯はりコール※1）	○ * 138-P051型のみ	×
設定湯量になると お湯を止める （オート止水※2）	×	○
操作内容を音声で おしらせする	×	○
だれかを呼び出す	×	○ * この機能は138-P052型、138-P054型の セットでのみ使用できます * 浴室リモコン138-P054型で操作します。
チャイルドロックを 設定する	×	○

※1 湯はりコール … 給湯栓から出たお湯の量が設定湯量に達したときにブザーでお知らせする機能です。

※2 オート止水 … 給湯栓から出たお湯の量が設定湯量に達したときにお湯を自動で停止させる機能です。

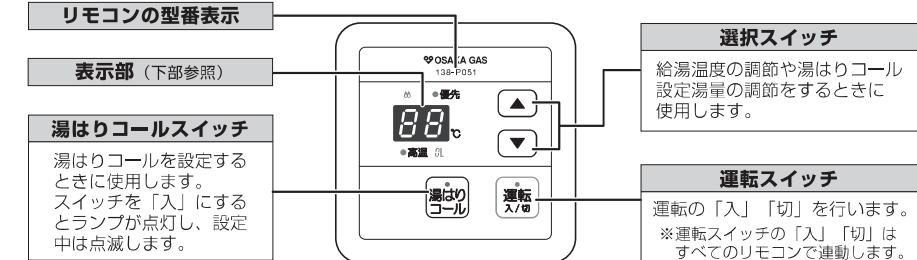
各部のなまえ



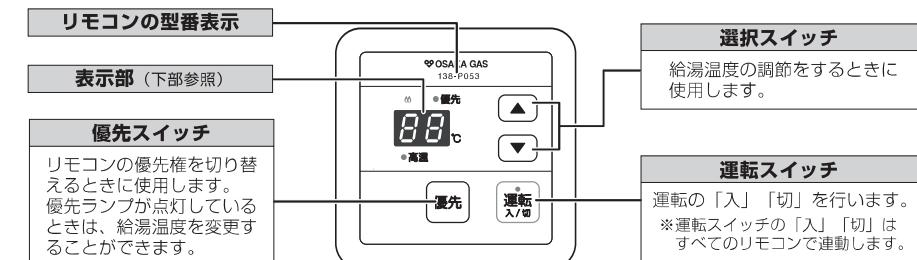
各部のなまえ（別売リモコン）

- リモコンの型番をお確かめください。リモコンによって仕様が一部異なります。
- リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

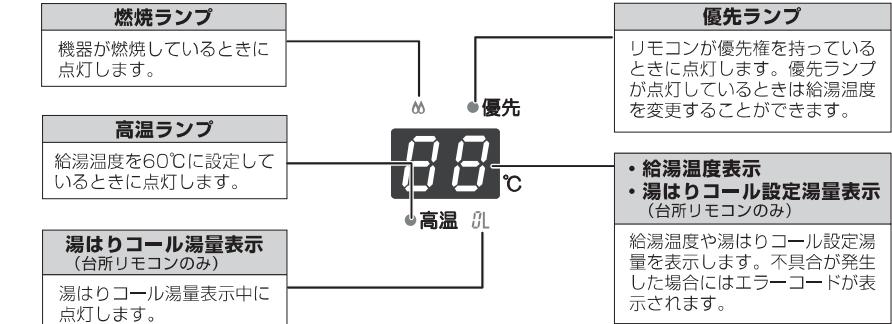
台所リモコン【138-P051型】



浴室リモコン【138-P053型】



リモコン表示部

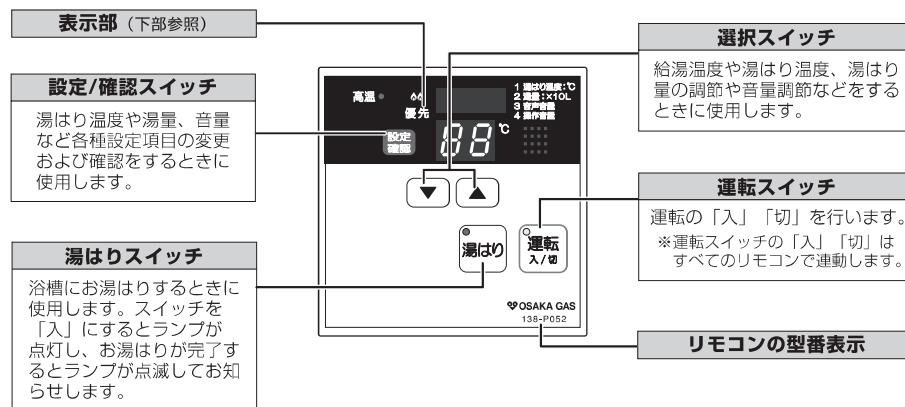


各部のなまえ（別売リモコン）

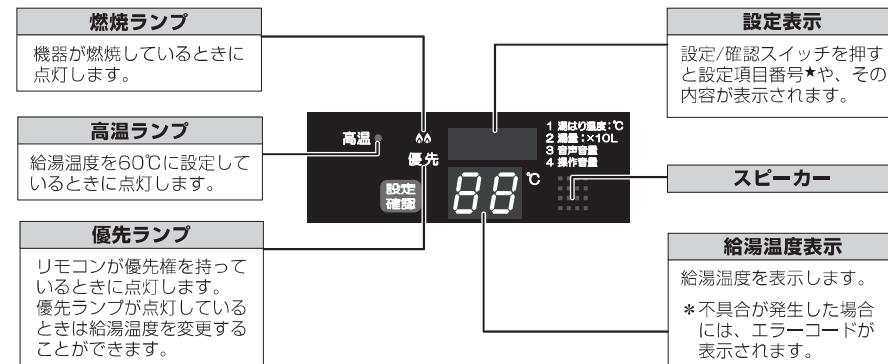
- リモコンの型番をお確かめください。リモコンによって仕様が一部異なります。
- リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

台所リモコン【138-P052型】

…台所等に取り付けるリモコンです。



リモコン表示部



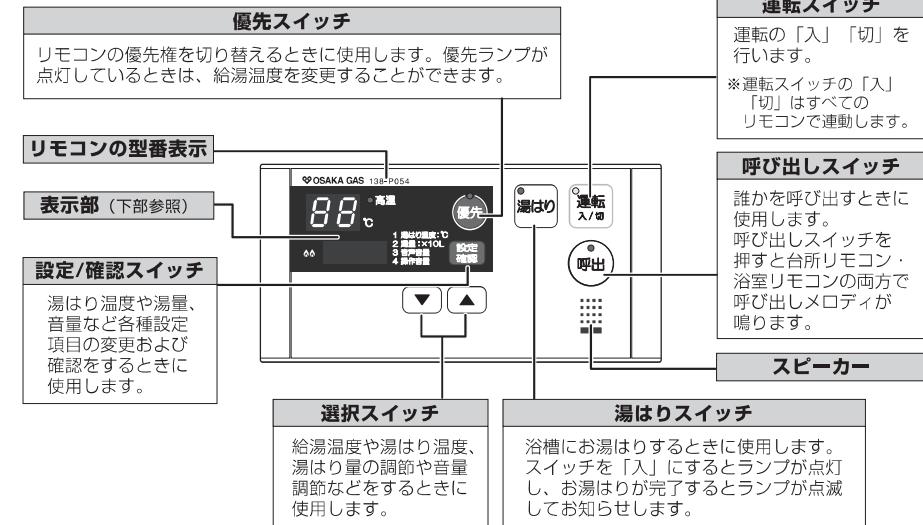
★設定項目番号について

- 湯はり温度や湯量、音量などは「設定/確認」スイッチを押し、設定項目番号を表示して設定します。
- 設定項目番号は①～④まであります。

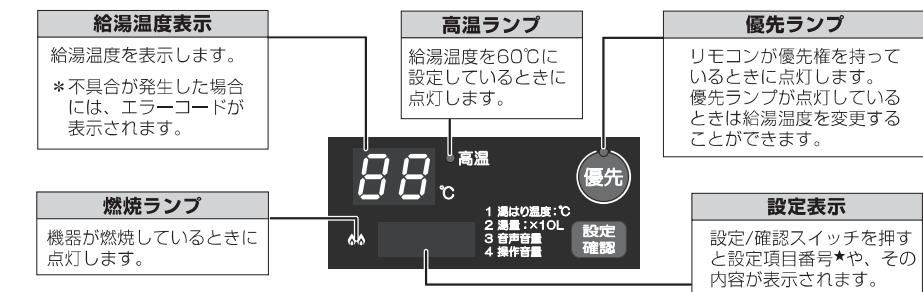
- ① 湯はり温度 ② 湯はり湯量 ③ 音声ガイド音量 ④ 操作確認音量

浴室リモコン【138-P054型】

…浴室内に取り付けるリモコンです。



リモコン表示部



★設定項目番号について

- 湯はり温度や湯量、音量などは「設定/確認」スイッチを押し、設定項目番号を表示して設定します。
- 設定項目番号は①～④まであります。

- ① 湯はり温度 ② 湯はり湯量 ③ 音声ガイド音量 ④ 操作確認音量

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示ではいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について
次のような意味
があります。

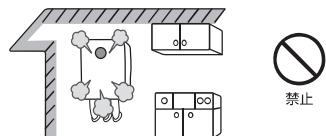


危険

屋外式機器

この機器は屋外式のため絶対に屋内に設置しない

→不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因になります。



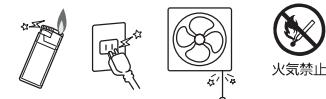
ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しない

→炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。

②お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスに連絡する。



警告

機器の設置（および付帯工事）

機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する



ガス接続（ガス事故防止）

この機器はネジ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスにご依頼ください。



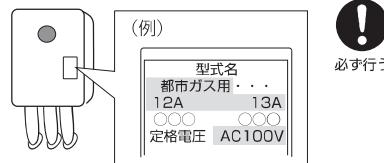
警告

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する

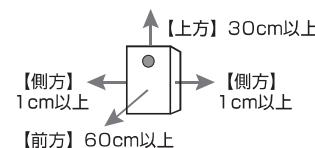
→表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認してください。

電源はAC100Vを使用する

*わからない場合はお買い上げの販売店かもよりの大坂ガスまで連絡する。



可燃物との離隔距離



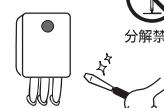
設置後、機器や排気口を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



絶対に改造・分解は行わない

→改造・分解は一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。



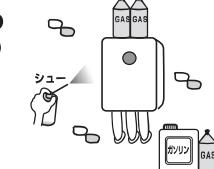
機器の周囲や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

→引火して火災、やけどのおそれがあります。



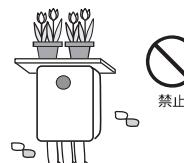
火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

→火災の原因になります。



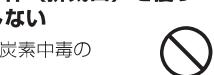
機器本体に無理な力を加えない。
機器本体やガスの接続口などに乗らない

→けがや機器の変形によるガス漏れや不完全燃焼、故障のおそれがあります。



外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体（排気口）を覆う場合は機器を使用しない

→不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。



必ずお守りください

警告

シャワー(上がり湯)などお湯を使う場合は、最初に熱いお湯が出ることがあるため、手のひらで湯温が安定したことを確かめてから使用する

→やけどのおそれがあります。



必ず行う

やけど防止のために出始めのお湯は体にかけない

→お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用し給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際には一瞬熱いお湯が出ることがあります。



禁止

給湯使用時は給湯栓(蛇口)が熱くなるのでやけどに注意する



禁止

湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないようにする

→急に湯量を少なくしたり、しぼりすぎると熱いお湯が出ることがあります。

また、消火することもあります。



必ず行う

熱いお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す
熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

→配管内の熱いお湯が出てしまうまでぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。



必ず行う

この機器を太陽熱温水器(ソーラーシステム)に接続しない

→ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどするおそれがあります。



禁止

湯温を低めに設定した場合の注意

→水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してください。



高温注意

入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する。

→やけどのおそれがあります。



必ず行う

シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

→突然熱湯が出てやけどしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。



禁止

異常時の処置

①点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。

②「故障かな?と思ったら」(37~39ページ)に従い処置する。

③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かもよりの大坂ガスまで連絡する。

地震、火災などの緊急な場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓および給水元栓を閉じる。

*再びお使いになる前に、必ずお買い上げの販売店かもよりの大坂ガスまで点検依頼してください。



必ず行う

給湯栓を全て閉める

運転スイッチを切る

電源プラグを抜く

ガス栓・給水元栓を閉じる

ガス栓・給水元栓を閉じる

ガス栓・給水元栓を閉じる

警告

- 子供を浴室または、機器の周囲や直下で遊ばせない
- 子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない
- 浴そうで水に潜ったりしない



禁止

→思わぬ事故につながることがあります。
特に小さなお子さまのいる家庭では注意が必要です。

浴そうのふたの上に乗ったり手をついたりしない

→ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。



禁止

電源プラグのほこりなどは定期的にふきとる

→電源プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

電源プラグを抜き、乾いた布などでふいてください。



必ず行う

電源プラグは根元まで完全に差し込む

→差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



禁止

傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

→感電や発火による火災の原因になります。



禁止

アースがされていることを確認する

→この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合、機器の故障や漏電による感電のおそれがあります。ご不明な場合はお買い上げの販売店かもよりの大坂ガスにご確認ください。



アースする

ドレン排出口から排出される水を飲料用、調理用、飼育用などには使用しない



禁止

給湯・シャワー以外の用途には使用しない

→思わぬ事故の原因になることがあります。



禁止

排気口に指や棒を入れない

→故障やけがの原因となります。



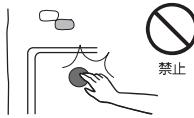
禁止

必ずお守りください

△注意

使用中や使用直後は機器本体・排気口とその周辺は高温になっているので、手を触れない

→やけどのおそれがあります。



おねがい

リモコンの注意

- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- 台所リモコンは防水タイプではありません。炊飯器、電気ポットなどの蒸気にも注意してください。故障の原因になります。



- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。

リモコンの設置場所について

- サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。
(5~55℃の範囲内で使用してください。)

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない

- 大きな音が出ることがあります。聴覚障害を引き起こすおそれがあります。

家庭用製品

- この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

本体の上に金属製の物を置かない

- 本体がさび、穴あきなどの原因になります。

温泉水や井戸水・地下水を使わない 上水道を使用する

- 水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。
*温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補償費用は保証期間内でもお客様の負担となります。



必ず行う

補修用性能部品および補助具は、 当社の純正部品以外は使わない

当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



禁止

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
*リモコンがある場合、リモコンの燃焼ランプで確認してください。
(詳しくは15.21ページをご覧ください。)



必ず行う

電源について

凍結予防運転のために電気を使用していますので緊急の場合以外は電源プラグを抜かないでください。



禁止

飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にして、ランプの消灯を確認してください。長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。



禁上

おねがい

水をお使いのときは

機器本体やリモコンを「切」にして給湯栓側で水を使用することは故障の原因になりますので避けてください。水をお使いのときは必ず給水栓側を開いてください。

停電・断水のときは

- 停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。（通電・通水後は改めて操作してください。）
- 冬期など気温の低いときに停電・断水した場合は「機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。
(41ページ)

- 断水から復帰した後、使い始めのお湯は飲用水・調理水などに用いないでください。断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。

- 断水復帰後は、給湯栓（蛇口）から十分な水流してから使用してください。

- *断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めて、リモコンを「切」にした状態（リモコンがない場合は電源プラグを抜いた状態）で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

再通電後のリモコン表示

- 温度表示は前回使用時の設定が表示されます。
- 湯量表示は下記のように表示されます。
 - 138-P051型リモコンの場合
→「180L」が表示されます。
 - 138-P052型リモコンの場合
→湯量表示はありません。
 - 138-P053型・138-P054型リモコンの場合
→前回使用時の設定が表示されます。

積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行う
積雪や、屋根から落ちた雪により給気口・排気口がふさがれないように注意してください。故障の原因になります。

雷時の注意

雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源コードが埋め込まれている場合は、元のブレーカーで落としてください。)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷が遠ざかってから、電源プラグが濡れていないことを確認して電源プラグを差し込んでください。

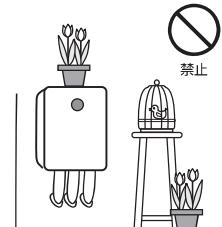


電源プラグ
を抜く

排気口の周囲

排気口からの燃焼排ガスによって加熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を排気口の周囲に置かないでください。

増改築などによつて、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。



禁上

増改築時の注意

扉などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良の原因になります。また、扉などと機器との間に十分な空間がないと点検・修理に支障をきたすおそれがあります。（機器の点検・修理のための空間については、お買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスにお問い合わせください。）

使用前の準備と確認

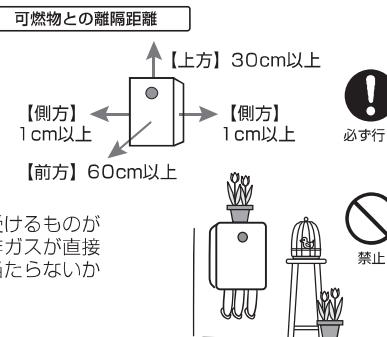
■設置状態の確認

下記の項目に当てはまる場所に設置されているか確認してください。

- 水平な場所（確実に設置のできる場所）
- 冷房装置や暖房装置の吹き出し口・吸い込み口がない場所
→正常な燃焼の妨げになることがあります。
- 落下物の危険がない場所
- 周囲に可燃物や引火性のものがない場所
- 給気口・排気口に強い風が吹き込まない場所
- 足場などを組まなくてもメンテナンスできる場所（高所以外の場所）
- 近所の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機音）で迷惑にならない場所
- 階段・避難口から離れた場所
- 排気口から吹き出される排気ガスが建物の外壁や窓にあたらない場所

■周囲の防火処置の確認

火災予防のため、右図のように周囲の可燃物から防火上有効な距離を確保してください。



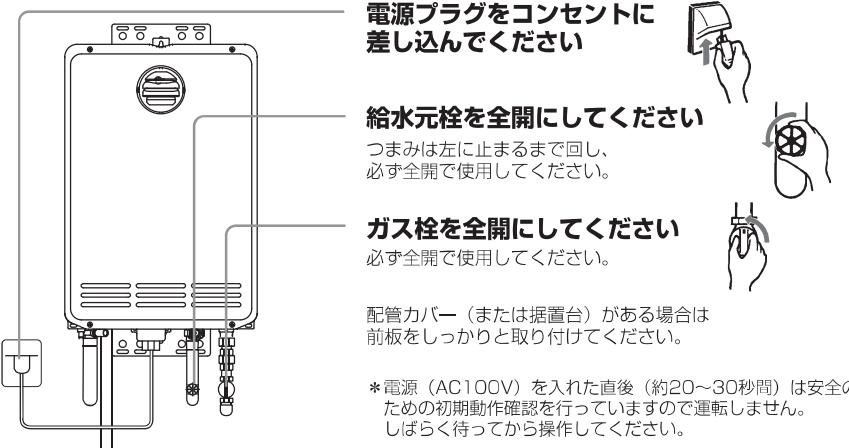
■排気口の周囲の確認

燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものが排気口の周囲にないか確認してください。また、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないか確認してください。

増改築時も同様に注意してください。

長年のご使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき安全にご使用ください。

初めてお使いになるときには



リモコンなしの場合

お湯の出しかた

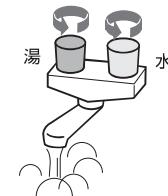
給湯栓を開けると約60°Cのお湯が出ますので、水と混ぜてお使いください。



*お湯の温度は、通常60°Cに設定されていますが、42°C、50°Cに変更することもできます。
ご希望があれば、お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスまでお問い合わせください。

①混合水栓を水側・お湯側の順で開ける

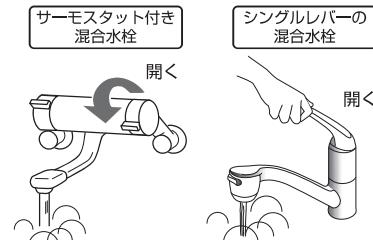
- サーモスタッフ付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は低めの湯温に合わせてから給湯栓を開けてください。



②混合水栓でお好みの湯温に調節する

③混合水栓をお湯側・水側の順で閉める

- サーモスタッフ付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は給湯栓を閉めたあとは、混合水栓側の温度設定を低温に戻してください。



警告

開けるときは水側（たっぷり）・お湯側（少しづつ）、
閉めるときはお湯側・水側の順に行う

→お湯側だけを開けると高温のお湯が出るので、やけどのおそれがあります。

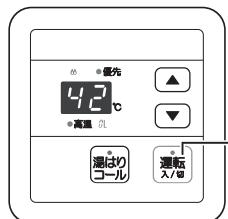


必ず行う

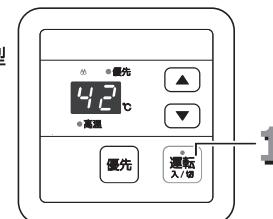
お湯の出しかた

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは台所リモコンでご説明します。

■台所リモコン
138-P051型



■浴室リモコン
138-P053型



- 1 運転スイッチを押し、運転ランプの点灯を確認する**



- 2 給湯栓を開ける**



- 3 給湯栓を閉める**



⚠ 警告

おふろでお湯を使うときは、必ず浴室リモコンの優先スイッチを押して優先にする



必ず行う

→優先にしないと台所リモコンで温度を変更できるためやけどのおそれがあります。

*浴室リモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。

*優先スイッチの使いかたを参照してください。(17ページ)

おねがい

リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

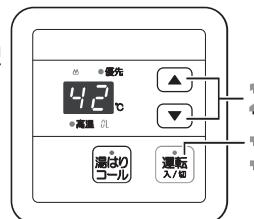
知っておいてね

- 初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。(給湯栓の開閉操作を2~3回くり返してください。)
- 給湯栓を絞りすぎると消火します。(給湯栓をもっと開けてご使用ください。)
- 2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によってはほとんどお湯が出ないことがあります。
- リモコンの設定温度を低くしている場合や、夏期など水温が高い場合、リモコンの設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあります。必要に応じて水を混ぜて湯温を確認してからお使いください。

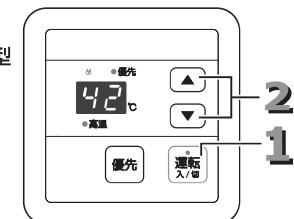
給湯温度を調節するには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは台所リモコンでご説明します。

■台所リモコン
138-P051型



■浴室リモコン
138-P053型



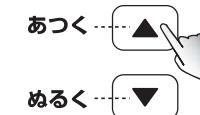
- 1 運転スイッチを押し、運転を「入」にする**



または、
優先ランプの点灯を確認する

- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。
- 運転「入」時でも優先ランプが点灯していないと給湯温度を変更することができません。(17ページ参照)

- 2 選択スイッチを押し、給湯温度を調節する**



- 38°C~45°Cまでは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60°Cと変わります。
- 60°Cに設定した場合、注意を促すため熱いお湯が出ることを高温ランプと音でお知らせします。(操作確認音を消音にしてもお知らせします)
- 設定を記憶します。

変更後の給湯温度



38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	60
ややぬるめ	適温	ややあつめ	あつい										

★表示の温度と実際の温度は設置条件(季節・配管長さ等)により必ずしも一致しません。
表示の温度はめやすとしてください。

⚠ 警告

おふろでお湯を使うときは、必ず浴室リモコンの優先スイッチを押して優先にする

→優先にしないと台所リモコンで温度を変更できるためやけどのおそれがあります。

*浴室リモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。

*優先スイッチの使いかたを参照してください。(17ページ)

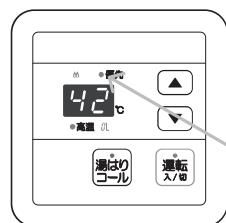


必ず行う

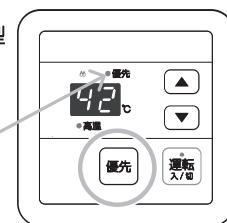
優先スイッチの使いかた

台所・洗面所・シャワーなど、機器からお湯を供給しているところは同じ温度のお湯が出ます。そのため、お湯を使用中に他の人が給湯温度を変更すると、お湯の温度が変わり、やけどのおそれがあります。このような事故を防止するために、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度を変えられないようになっています。

■台所リモコン
138-P051型



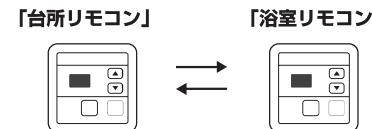
■浴室リモコン
138-P053型



浴室リモコンの優先スイッチを押す



- 浴室リモコンの優先スイッチを1回押すごとに「浴室リモコン」と「台所リモコン」の間で優先権が交互に切り替わります。
(優先権を持つリモコンの優先ランプが点灯します。)



- リモコンの運転を「切」の状態から「入」にした場合、運転スイッチを「入」にした側のリモコンが優先権を持ちます。
- 台所リモコンで給湯温度を変更できない場合は、一度台所リモコンの運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして台所リモコンの優先ランプを点灯させてからご使用ください。
※おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。

台所リモコンと浴室リモコンはそれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると優先権を持つリモコンが記憶していた給湯温度になります。

- 優先権のないリモコンでは給湯温度を変更できません。
- 給湯温度の変更以外は、優先権の有無に関係なく設定したり、変更することができます。



⚠ 警告

お湯を使用するときはやけどに注意する

- 高温設定にした場合、熱いお湯がでますので十分に注意してください。
- 高温で使用した後、あらためて使用する場合、配管内に残った熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のために出始めのお湯は体にかけないでください。
- やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対に浴室リモコン以外で給湯温度の変更をしないでください。
必ず浴室リモコンの優先スイッチを押し、浴室リモコンを優先にしてください。
- ※浴室リモコンを優先中は台所リモコンの運転スイッチを切ったり、入れたりしないでください。台所リモコンに優先権が切り替わり、熱いお湯が出ることがあります。
- 給湯温度を変更する場合や、優先権を切り替える場合は、他の人がお湯を使用していないことを確認してください。

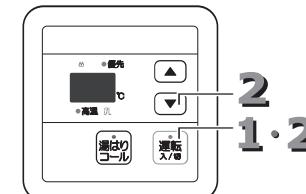


操作確認音の消しかた、鳴らしかた

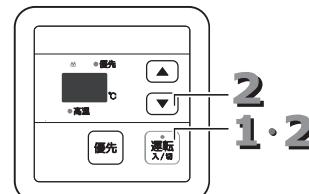
◆台所リモコン・浴室リモコンそれぞれで設定します。
ここでは台所リモコンで説明します。

スイッチを押したときの‘ピッ’という音は、消したり、鳴らしたりすることができます。

■台所リモコン 138-P051型



■浴室リモコン 138-P053型



1 運転スイッチを押し、運転ランプの消灯を確認する



2 ▼ を押しながら、運転スイッチを押す



- 操作するたびに「消音」⇒「音が鳴る」と切り替わります。
- 操作確認音を消音に設定すると、音が消え、音が鳴るように設定すると“ピピッ”と音が鳴ります。

知っておいてね

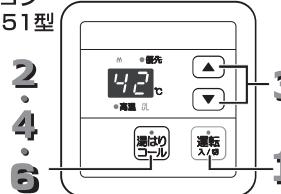
- 音量調節はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時に変更できません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定（音が鳴る）に戻ります。
- 給湯温度を60℃の高温に調節したときのお知らせ音は消すことができません。

湯はりコールの使いかた

◆台所リモコンで設定します。

湯はりコールとは、給湯栓から出たお湯の量が設定した湯量に達したときに“ピピピッ”とブザーでお知らせする機能です。

*湯はりコールは、お知らせ機能だけで給湯を自動停止することはできません。

■台所リモコン
138-P051型

1 運転ランプの点灯を確認する

- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。



2 湯はりコールスイッチを押す

- 湯はりコールランプが点灯し、初期設定の180L、または前回使用時に設定の湯量が表示されます。
- 「OL」が点灯します。
- 湯量の表示は10L単位です。



15秒以内

*湯量を変更する場合のみ行ってください。
変更しない場合はそのまま手順4へお進みください。

3 湯量を調節する

- 10L～500Lまで10Lづつ調節できます。
押し続けると連続的に変わります。
- 初期設定の180Lは、1.5人用の一般的な浴槽を基準にしています。
- 設定を記憶しますが、電源プラグを抜くと初期設定に戻ります。



4 【湯はりコールセット完了】

湯はりコールスイッチを押す

- 湯はりコールランプが点滅し、温度表示に戻ります。
- 湯はりコールスイッチを押さずにそのまま約15秒経過すると自動的に設定が完了します。



5 給湯栓を開ける

- サーモスタッフ付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は、混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしてください。（20ページ）



6

【湯はりコールでおしらせ】

設定湯量に達すると、15秒間“ピピピッ”でお知らせ



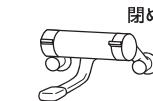
- 湯はりコールランプが点灯します。
- 「OL」が点灯します。
- “ピピピッ”を止めるには湯はりコールスイッチを押してください。

- ブザー終了後は湯はりコールランプが消灯し、温度表示に戻ります。



7

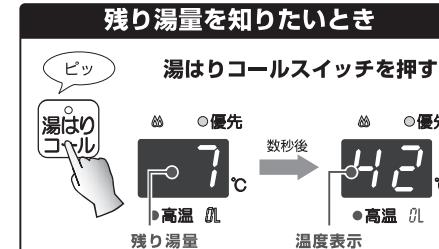
給湯栓を閉める



湯はりコールを途中で取り消すとき

湯はりコールスイッチを2回押す

湯量調節をする前に湯はりコールのセットが完了してしまった場合は、湯はりコールを取り消し、再度手順2から操作をやり直してください。



知っておいてね

- 湯はりコールスイッチを押してから次のスイッチを押すまでが15秒以内に行われないときは、自動的に初期設定の湯量または前回使用時に設定の湯量でセットされます。
- 湯はりコールはセット後1時間以内に給湯栓を開かないと自動的に取り消されます。
- 設定湯量はすべての給湯栓から使用されたお湯の量になります。湯はりコールをセット後、お湯はり以外に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定湯量よりも少なくなります。
- 混合水栓をご使用の場合、混合水栓で混ぜた水の量だけ湯はり量が設定湯量よりも多くなります。

[サーモスタッフ付きやシングルレバーの混合水栓の場合]

- 混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしてください。
中間の位置で使用すると、水が混ざるために浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。



警告

給湯栓を閉めたあとは、
混合水栓側の温度設定を
低温に戻す

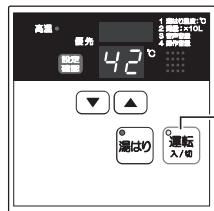


→やけどのおそれがあります。

お湯の出しかた

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは台所リモコンでご説明します。

■台所リモコン 138-P052型



1

- 1 運転スイッチを押し、運転ランプの点灯を確認する**



- 2 給湯栓を開ける**



- 3 給湯栓を閉める**



警告

おふろでお湯を使うときは、必ず
浴室リモコンの優先スイッチを
押して優先にする



→優先にしないと台所リモコンで温度を変更
できるためやけどのおそれがあります。

*浴室リモコンの優先ランプが点灯してい
ることを必ず確認してください。

*優先スイッチの使いかたを参照してくだ
さい。 (23ページ)

おねがい

リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を
使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で
使用してください。「湯」の位置で水を流すと
機器内が結露して点火不良や故障の原因になり
ます。

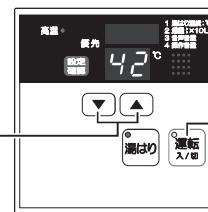
知っておいてね

- 初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。(給湯栓の開閉操作を2~3回くり返してください。)
- 給湯栓を絞りすぎると消火します。(給湯栓をもっと開けてご使用ください。)
- 2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少くなったり、給湯配管によってはほとんどお湯が出ないことがあります。
- リモコンの設定温度を低くしている場合や、夏期など水温が高い場合、リモコンの設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあります。必要に応じて水を混ぜて湯温を確認してからお使いください。

給湯温度を調節するには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは台所リモコンでご説明します。

■台所リモコン 138-P052型



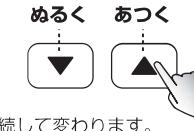
2

- 1 運転スイッチを押し、運転を「入」にする**



- 2 優先ランプの点灯を確認する**

- 2 選択スイッチを押し、
給湯温度を調節する**



- 38°C~45°Cまでは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60°Cと変わります。
- 60°Cに設定した場合、注意を促すため高温ランプが点灯し、熱いお湯が出ることを音声と音でお知らせします。(音声ガイド音や操作確認音を消音にしていてもお知らせします)
- 設定を記憶します。

温度のめやす

38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

ややぬるめ 適温 ややあつめ あつい

★表示の温度と実際の温度は設置条件(季節・配管長さ等)により必ずしも一致しません。
表示の温度はめやすとしてください。

警告

おふろでお湯を使うときは、必ず浴室リモコンの優先スイッチを押して優先にする

→優先にしないと台所リモコンで温度を変更できるためやけどのおそれがあります。

*浴室リモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。

*優先スイッチの使いかたを参照してください。 (23ページ)

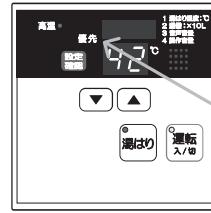


必ず行う

優先スイッチの使いかた

台所・洗面所・シャワーなど、機器からお湯を供給しているところは同じ温度のお湯が出ます。そのため、お湯を使用中に他の人が給湯温度を変更すると、お湯の温度が変わり、やけどのおそれがあります。このような事故を防止するために、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度を変えられないようになっています。

■台所リモコン
138-P052型



■浴室リモコン
138-P054型



浴室リモコンの優先スイッチを押す



- 浴室リモコンの優先スイッチを1回押すごとに「浴室リモコン」と「台所リモコン」の間で優先権が交互に切り替わります。
(優先権を持つリモコンの優先ランプが点灯します。)

「台所リモコン」



「浴室リモコン」

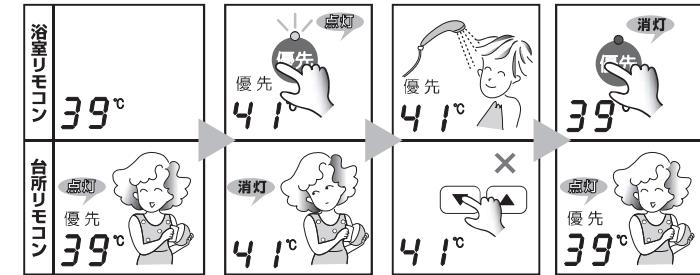


- リモコンの運転を「切」の状態から「入」にした場合、運転スイッチを「入」にした側のリモコンが優先権を持ちます。
- 台所リモコンで給湯温度を変更できない場合は、一度台所リモコンの運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして台所リモコンの優先ランプを点灯させてからご使用ください。
※おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。

台所リモコンと浴室リモコンはそれぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると優先権を持つリモコンが記憶していた給湯温度になります。

- 優先権のないリモコンでは給湯温度を変更できません。
- 給湯温度の変更以外は、優先権の有無に関係なく設定したり、変更することができます。

(例) 台所リモコンで39℃、浴室リモコンで41℃に設定している場合



警告

お湯を使用するときはやけどに注意する

- 高温設定した場合、熱いお湯がでますので十分に注意してください。
- 高温で使用した後、あらためて使用する場合、配管内に残った熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のために出始めのお湯は体にかけないでください。
- やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対に浴室リモコン以外で給湯温度の変更をしないでください。
必ず浴室リモコンの優先スイッチを押し、浴室リモコンを優先にしてください。
- ※浴室リモコンを優先中は台所リモコンの運転スイッチを切ったり、入れたりしないでください。
台所リモコンに優先権が切り替わり、熱いお湯が出ることがあります。
- 給湯温度を変更する場合や、優先権を切り替える場合は、他の人がお湯を使用していないことを確認してください。

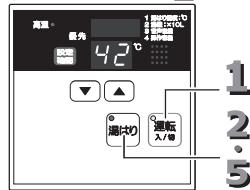


高温注意

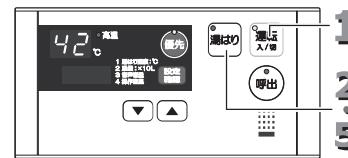
お湯はり中のお湯を自動で停止させる [オート止水]

給湯栓から出たお湯の量が設定湯量に達したときにお湯を自動で停止させることができます。

■台所リモコン 138-P052型



■浴室リモコン 138-P054型



※お湯はりが終了したとき、解除したときは、必ず給湯栓を開めてください。
⇒給湯栓を閉め忘れたまま湯はりスイッチを「切」にすると、音声で「給湯栓が開いていませんか。おふろの給湯栓を確認してください。」とお知らせします。

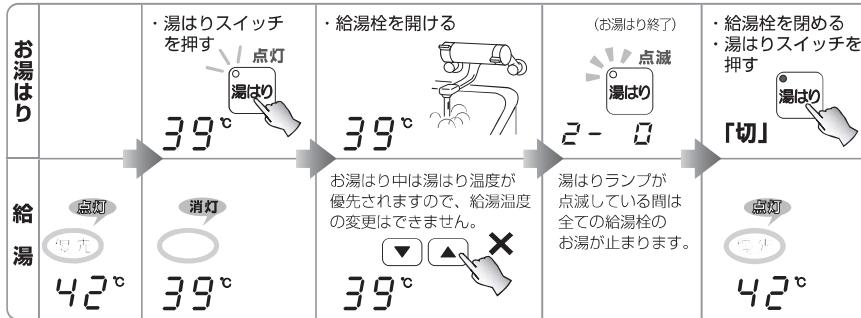
このとき22ページで設定した給湯温度のお湯が出ます。湯はり温度より高い給湯温度に設定している場合はやけどのおそれがありますので、給湯栓の閉め忘れにご注意ください。

※お湯はり中はお湯はりが最優先されます。

⇒お湯はり中は湯はりの設定温度が優先され、給湯温度の変更はできません。

お湯はり終了後、湯はりランプが点滅している間はすべての給湯栓のお湯が止まります。

(例) 湯はり温度39℃、給湯温度42℃に設定している場合



知っておいてね

- お湯はり中にすべての給湯栓を閉めた場合、お湯はりは一時中断されます（湯はりランプは点灯したままで）。再び給湯栓を開くと、お湯はりは継続されます。（中断後6時間以内）
- お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると、浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。
- 混合水栓をご使用の場合、混合水栓で混ぜた水の量だけ湯はり量が設定湯量よりも多くなります。

[サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓の場合]

- 混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしておいてください。中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。



警告

給湯栓を閉めたあとは、
混合水栓側の温度設定を
低温に戻す



→やけどのおそれがあります。

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

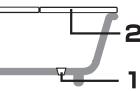
準備

1. 浴そうの排水栓を閉める
2. 浴そうのふたをする

※お湯が入る部分は開けておく

1 運転ランプの点灯を確認する

- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。



2 湯はりスイッチを押す

- 湯はりランプが点灯します。



3 給湯栓を開ける

- 給湯栓を開けることで湯はりが開始します。
- サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は、混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしてください。（25ページ）



【湯はり終了】

- 湯はりが終了するとお知らせし、
お湯を自動で止めます。
●湯はりランプが点滅します。



4 給湯栓を閉める

- 必ず給湯栓を閉めてください。

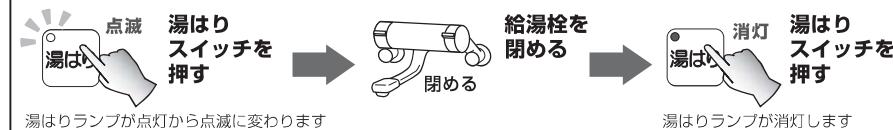


5 湯はりスイッチを押す

- 湯はりランプが消灯します。
- 給湯栓を閉め忘れたまま湯はりスイッチを「切」にすると、音声で「給湯栓が開いていませんか。おふろの給湯栓を確認してください。」とお知らせします。このとき22ページで設定した給湯温度のお湯が出ます。湯はり温度より高い給湯温度に設定している場合はやけどのおそれがありますので、給湯栓の閉め忘れにご注意ください。



お湯はりを途中で取り消すとき

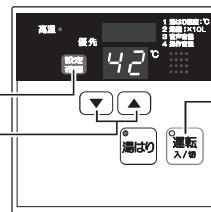


湯はりランプが消灯します

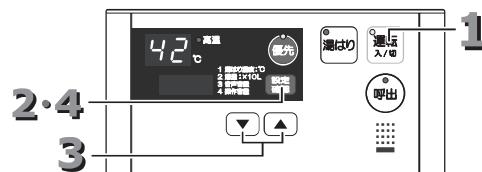
お湯はりの温度を調節するには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

■台所リモコン 138-P052型



■浴室リモコン 138-P054型



1 運転ランプの点灯を確認する

- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。



2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「1」を選択する



- 設定/確認スイッチを押すごとに、
「1. 湯はり温度」→「2. 湯はり湯量」→
「3. 音声ガイド音量」→「4. 操作確認音量」→
「最初の表示画面」と切り替わります。

3 選択スイッチを押し、
湯はり温度を調節する

- 38℃～48℃まで1℃きざみで調節できます。

38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。

- 設定を記憶します。

38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

ややぬるめ 適温 ややあつめ

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。表示の温度は目安としてください。



上の表示と同じ
温度が点滅

4 設定/確認スイッチを押す

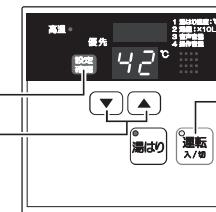


- 設定を記憶します。
- 設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

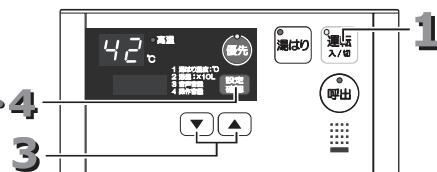
お湯はりの湯量を調節するには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

■台所リモコン 138-P052型



■浴室リモコン 138-P054型



1 運転ランプの点灯を確認する

- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。



2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「2」を選択する



- 設定/確認スイッチを押すごとに、
「1. 湯はり温度」→「2. 湯はり湯量」→
「3. 音声ガイド音量」→「4. 操作確認音量」→
「最初の表示画面」と切り替わります。

3 選択スイッチを押し、
湯はり量を調節する

前回設定の
湯はり量が点滅

- 10L～500Lまでは10Lずつ、さらに990Lの調節ができます。

●10L～500Lまでは押し続けると連続して変わります。

- 初期設定は180Lです。

(1.5人用の一般的な浴槽を基準にしています。)

4 設定/確認スイッチを押す

- 設定を記憶します。
- 設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。



呼び出すには

リモコンの呼び出しメロディを鳴らして人を呼び出せます。

※呼び出し機能ですので、通話することはできません。

■浴室リモコン 138-P054型



◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく使用することができます。ここでは運転「切」時でご説明します。

1 呼出スイッチを押す

- 呼出ランプが点灯します。
 - 台所リモコンと浴室リモコンの両方で呼び出しメロディが鳴ります。
- 一度押すと、約4秒間鳴ります。



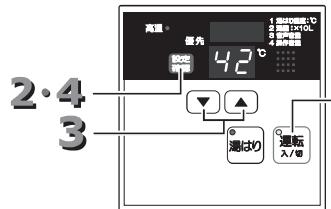
- ◆この機能は浴室リモコン138-P054型で台所リモコン138-P052型の呼び出しメロディを鳴らす機能です。
- ◆浴室リモコンで操作します。

音声ガイドの音量を調節するには

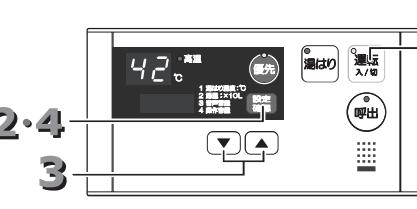
◆台所リモコン・浴室リモコンそれぞれで設定します。
ここでは台所リモコンでご説明します。

音声ガイドの音量を調節します。

■台所リモコン 138-P052型



■浴室リモコン 138-P054型



1 運転ランプの点灯を確認する

- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。



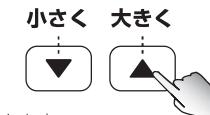
2 設定/確認スイッチを押す

- 設定項目番号「3」を選択する
- 設定/確認スイッチを押すごとに、「1. 湯はり温度」→「2. 湯はり湯量」→「3. 音声ガイド音量」→「4. 操作確認音量」→「最初の表示画面」と切り替わります。



3 選択スイッチを押し、音量を調節する

- 音量は「0（消音）」「1（小）」「2（標準）」「3（大）」に調節できます。
- 初期設定は「2」です。
- △スイッチを押すごとに、0→1→2→3、▽スイッチを押すごとに、3→2→1→0と音量が切り替わります。



4 設定/確認スイッチを押す

- 設定を記憶します。
- 設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。



知っておいてね

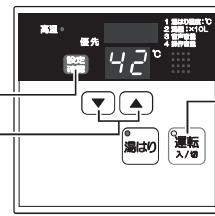
- 音量調節はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定「2（標準）」に戻ります。
- 音量を「0（消音）」にすると、オート止水使用時（25・26ページ）の給湯栓閉め忘れお知らせなどの注意喚起やご使用上のお知らせは消音になります。取扱説明書の内容と使用上のご注意をよく理解してご使用ください。ただし、60℃に設定したときのみ、高温注意を促すための音声は消えずにお知らせします。

操作確認音・お知らせ音の音量を調節するには

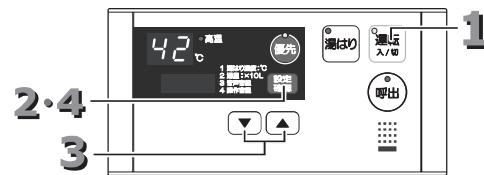
◆台所リモコン・浴室リモコンそれぞれで設定します。
ここでは台所リモコンでご説明します。

操作確認音、お知らせメロディ、呼び出しメロディの音量を調節します。

■台所リモコン 138-P052型



■浴室リモコン 138-P054型



調節できる音の種類

- 操作確認音…スイッチを押したときに鳴る音
- お知らせメロディ…おふろが沸いたときなどのお知らせ音
- 呼び出しメロディ…呼び出しのときの呼び出し音

音量設定	操作確認音・お知らせメロディ	呼び出しメロディ
0	消音	小
1	小	小
2	標準	標準
3	大	大

※音量設定を「0」にしても、呼び出しメロディは「小」のままで「消音」にはなりません。
※音量設定を「0」にしても、60°Cに設定した際は注意を促すため、音や音声でお知らせします。

知っておいてね

- 音量調節はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時に変わりません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定「2」に戻ります。

1 運転ランプの点灯を確認する

- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。



2 設定/確認スイッチを押す

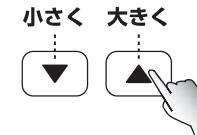
設定項目番号「4」を選択する

- 設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、湯はり温度」→「2、湯はり湯量」→
「3、音声ガイド音量」→「4、操作確認音量」→
「最初の表示画面」と切り替わります。



設定項目番号表示

3 選択スイッチを押し、音量を調節する



- 音量は0~3段階に調節できます。
- 初期設定は「2」です。
- ▲スイッチを押すごとに、0→1→2→3、
▼スイッチを押すごとに、3→2→1→0と
音量が切り替わります。



前回の
設定内容が点滅

4 設定/確認スイッチを押す

- 設定を記憶します。
- 設定/確認スイッチを押さずに、そのまま
約30秒経過するとそのときの設定内容で
自動的に設定が完了します。

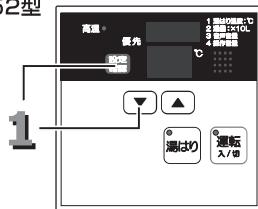


チャイルドロックを設定するには

◆台所リモコン・浴室リモコンそれぞれで設定します。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

小さなお子様のいたずらによる事故を防止するため、ロック機能がついています。

■台所リモコン
138-P052型



■浴室リモコン
138-P054型



◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ここでは運転「切」時でご説明します。

1 設定/確認スイッチを押しながら 選択スイッチ ▼ を押す



- チャイルドロックを設定すると表示画面に「---」と表示され、解除すると「---」は表示されません。
- 解除するには再度、同様の操作を行ってください。

知っておいてね

- チャイルドロックの設定/解除はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時に変わりません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。
* 初期設定はオフ（解除）です。
- チャイルドロックを設定している場合でも下記の操作は行うことができます。
それ以外の操作をしようとするとき表示画面に「---」が表示されます。
- ◎運転スイッチの「切」 ◎呼び出し機能の操作 ◎湯はりの停止操作



*チャイルドロックを設定すると、無効な操作をしたときに表示画面に「---」が表示されるようになります。

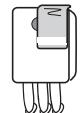
点検とお手入れ

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスに点検・修理を依頼してください。
- お手入れの際には必ず電源プラグを抜き、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
なお、電源プラグを抜くと音声ガイドの音量設定・操作確認音/お知らせ音の音量設定、湯はりコールの湯量が初期化され、チャイルドロックが解除されます。再度設定してください。
- お手入れの際、指先などのけがには十分注意してください。

点検のポイント（ご使用のたびに）

1.給気口・排気口を異物やほこりでふさいでいませんか？

不完全燃焼や異常過熱の原因になります。排気口・給気口をふさがないでください。排気口・給気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口・給気口がふさがれた場合、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口・給気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口・給気口をふさぐおそれのある場合はお買い上げの販売店かもよりの大坂ガスに連絡し、設置場所を変更する必要があります。



2.機器のまわりに燃えやすいものはありませんか？

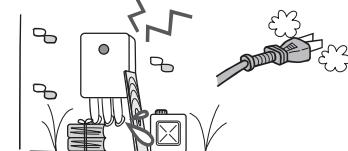
3.運転中に異常音は聞こえませんか？

4.機器配管からガス漏れ・水漏れはありませんか？

5.外観に変色等の異常はありませんか？

6.電源プラグにほこりがたまっていますか？

7.ドレン配管の先がゴミなどで詰まっていますか？



お手入れのしかた（月に1回程度）

本体・リモコン

水気をかたくしほったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で洗剤と水気を十分ふき取る



おねがい

- 浴槽、洗面台もこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹼などに含まれる脂肪酸とが反応し、青く変色することがあります。
- 機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
- シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷付けます。
- 機器外装のお手入れの際、銘板をはがさないでください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンは防水タイプではありません。
- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- 点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。

点検とお手入れ

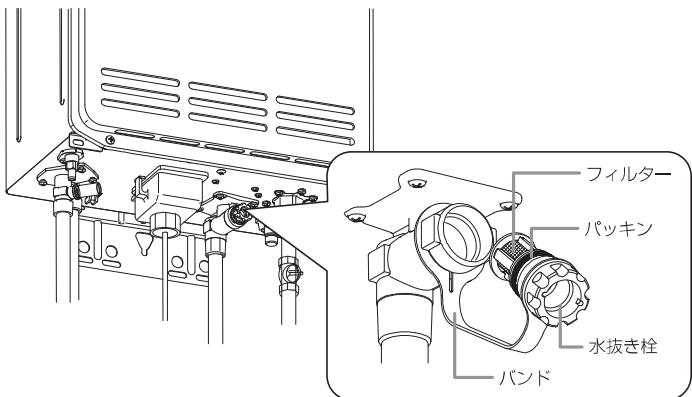
お手入れのしかた（月に1回程度）

水道管よりゴミなどが入らないように機器の給水水抜き栓にフィルターがついています。このフィルターが詰まるとお湯の量が少なくなったり、お湯にならないことがあります。月に1回程度お手入れしてください。

- お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
- 水抜き栓をはずすときに、水が飛び出ることがありますので、ゆっくりはずしてください。

- 1.給水元栓を閉める
- 2.すべての給湯栓（シャワーを含む）を開ける
- 3.水抜き栓をはずし、フィルター部分のゴミを取り除く
- 4.元どおりに水抜き栓を取り付ける
- 5.すべての給湯栓（シャワーを含む）を閉める
- 6.給水元栓を開けて水抜き栓周辺に水漏れがないことを確認する

※お手入れ後、最初にご使用するときに空気を含んだ水（お湯）が勢いよく出ることがありますのでご注意ください。



※配管カバー（または据置台）の前板を取りはずした場合は、元通り取り付けてください。（36ページ）

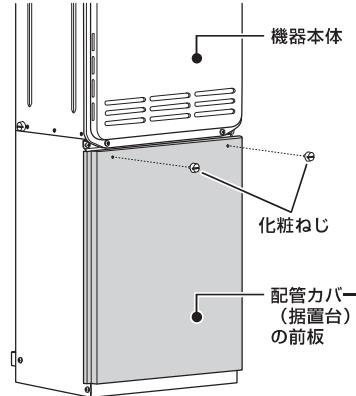
定期点検のおすすめ

より長く安全にお使いいただくために、年1回程度の定期点検を受けられることをおおすすめします。
お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスにご相談のうえお申しつけください。（有料）



おねがい

機器の下に配管カバー（または据置台）が取り付けられている場合



- 点検・お手入れ、凍結予防の水抜きなどにより配管カバー（または据置台）の前板を取りはずされたときは作業終了後、前板を元通り取り付けてください。
- 化粧ねじは緩みが無いように確実に締め付けてください。

※特に強風が予測される場合は、化粧ねじの緩みがないか点検をお願いいたします。



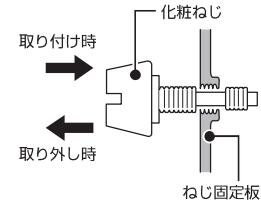
注意 化粧ねじで緩みのないよう確実に固定する

配管カバー（または据置台）の前板は化粧ねじで固定します。この化粧ねじは、下図のようにねじのない部分があります。このため、ねじを回していくと途中で空回りします。



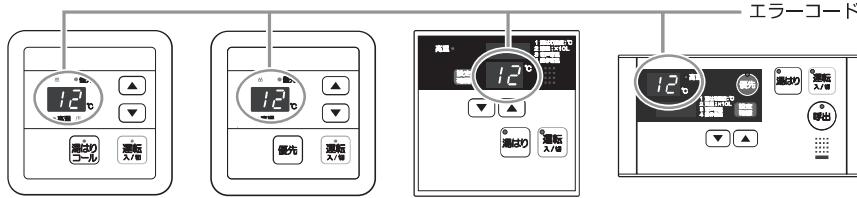
必ず行う

- 【取り付け時】
さらに、化粧ねじを押しながら水平に回してください。
【取り外し時】
さらに、化粧ねじを引きながら水平に回してください。



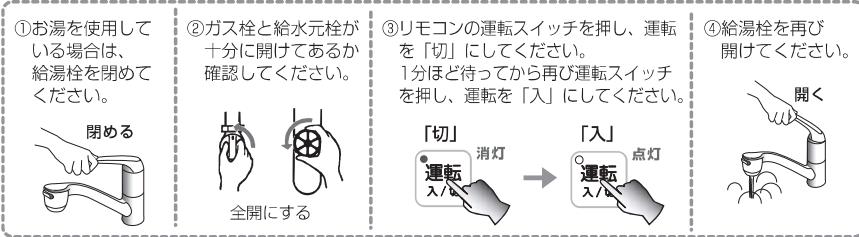
故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンにエラーコードが表示されていないか確認します。
給湯栓を閉じる前に表示されたエラーコードを書きとめてください。
(リモコンを使用していない場合は、38~39ページをご参照ください。)



エラーコードが表示されたら

1. 下記の操作を行ってください。



2. それでもなおエラーコードが表示される場合、

●下記の一覧以外のエラーコードが表示される場合は、3へ

●下記の一覧のエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にする。

下記の一覧の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は、3へ

3. 給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスまで点検・修理を依頼する。

このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコード	原因	処置
11	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している	もよりの大坂ガスへご連絡ください。
11 12	ガス栓の開きが不十分	ガス栓を全開にする
15	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やす
16	水抜き後の再使用時の順番が違っている	42ページ「水抜き後の使いかた」参照
92 (燃焼開始時に 表示します。) ↓ 93	長年の使用により中和剤が減少している 中和器の交換が必要ですので、お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスにご連絡ください。	中和器の交換が必要ですので、お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスにご連絡ください。
10 燃焼開始時に 「ピッ・ピッ・ピッ」とブザーが鳴ります。 ↓ 99	機器の給気口をふさいでいる	機器の給気口をふさいでいるものを取り除く 修理が必要ですのでお買い上げの販売店かもよりの大坂ガスにご連絡ください。

下記のような現象が生じた場合は、症状に応じた処置を行ってください。
また処置をしてもなお異常があるときや不明な点は、お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスまでご連絡ください。

『お湯』について

現象	原因と処置
給湯栓を開けても お湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 給水元栓が十分開いていない (13ページ) 給湯栓をしぼりすぎている (流水量が少なくなると消火します。) 凍結している (42ページ) 機器から給湯栓までの距離が長いと給湯管内の冷水を追い出すのに時間がかかり、お湯が出るまでに時間がかかることがあります。 停電している (12ページ) 電源プラグが抜いている ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している 水抜き栓フィルターにゴミが詰まっている (35ページ)
どこかの給湯栓を開けても お湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 「湯はり」ランプが点滅している間は全ての給湯栓のお湯が止まります。 (25、26ページ) <p>※台所リモコン138-P052型 浴室リモコン138-P054型 をお使いのかた</p>
途中で水になる 使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> ガス栓が全開になっていない (13ページ) 給水元栓が十分開いていない (13ページ) 停電している (12ページ) 電源プラグが抜いている 給湯栓をしぼりすぎている (流水量が少くなると消火します。)
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 給水元栓が十分開いていない (13ページ) 湯温調節が適切でない (16、22、27ページ) 2ヶ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 (15、21ページ) 少量のお湯を使用しようとすると、湯温が高くなります。 (給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安定します。) 夏期など水温の高い場合に、低温のお湯を使用しようとすると湯温が設定温度よりも高くなります。 (15、21ページ)
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 湯温調節が適切でない (16、22、27ページ) ガス栓が十分開いていない (13ページ) 2ヶ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 (15、21ページ) 冬期など水温が低い場合に、高温のお湯を大量に使用しようとすると設定温度のお湯がでないことがあります。 (給湯栓をしぼり湯量を少なくすれば、湯温は安定します。) 混合水栓をご使用の場合は、水が回り込み、お湯がぬるくなる場合があります。
給湯温度の設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> 操作しているリモコンが優先になっていない (17、23ページ)
給湯栓から出る湯量が 変化する	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量・湯温が不安定になることがあります。 (15、21ページ) お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少くなったり、給湯配管によってはほとんどお湯が出ないことがあります。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。

故障かな？と思ったら

『お湯』について

現象	原因と処置
設定した湯量にならない	<ul style="list-style-type: none">●浴槽にお湯が残った状態でお湯はりを開始したり、お湯はりを一時中断したあと再度お湯はりした場合は浴槽に残っているお湯（水）の量だけ、設定湯量より多くなります。●設定湯量はすべての給湯栓から使用されたお湯の量になります。お湯はり以外に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定湯量より少なくなります。●混合水栓をご使用の場合、混合水栓で混ぜた水の量だけ湯はり量が設定湯量よりも多くなります。

『リモコン』について

現象	原因と処置
リモコンのスイッチが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">●停電している（12ページ）●電源プラグが抜いている
スイッチを押すとリモコンの表示画面に「--」が表示される <small>*台所リモコン138-P052型 浴室リモコン138-P054型をお使いのかた</small>	<ul style="list-style-type: none">●チャイルドロックが設定されている（33ページ）

その他

現象	原因と処置
お湯が白く濁って見える	<ul style="list-style-type: none">●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ピール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
排気口から白い煙のようなものが出る	<ul style="list-style-type: none">●外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
水抜き栓（安全弁付き）からときどき水滴が落ちる	<ul style="list-style-type: none">●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓からときどき水が落ちることがあります。水漏れではありません。（機器下面がぬれて困るようなときは、ビニールホース等で支障のないところへ排水してください。なお、ホースは中に水が溜まらないように取り付けてください。）
給湯停止後もファンが回転している	<ul style="list-style-type: none">●再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。●1日1回程度の割合で、通常よりも少し大きな音がすることがあります。故障ではありません。
ドレン排出口から水滴が出来る	<ul style="list-style-type: none">●燃焼中に発生する結露水ですので異常ではありません。（長年お使いになった場合は、結露水は赤っぽくなることもあります。）

凍結を防ぐには

冬期には給水、給湯配管が凍結し、破損事故がおこることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。

*暖かい地域でも機器や配管内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、下記の必要な処置をしてください。
配管カバー（または据置台）の前板を取りはずした場合は、元通り取り付けてください。（36ページ）

① 凍結予防ヒーターによる方法

この機器には、凍結予防ヒーターが組み込まれていますので、機器本体に電気が供給されている限り、無風状態でマイナス20℃程度まで機器内の凍結を予防できます。外気温が下がると凍結予防ヒーターが自動的に機器内を保温します。（リモコンがある場合）運転スイッチの「入」「切」に関係なく凍結予防します。



凍結予防のため、電源プラグは抜かないでください。

おねがい

- 機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので配管の水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。
- 凍結予防ヒーターが有効なのは無風状態で外気温マイナス20℃程度までですので、気象状況により「②通水による方法」「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。
- 停電時は凍結予防ヒーターが働きませんので、「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。

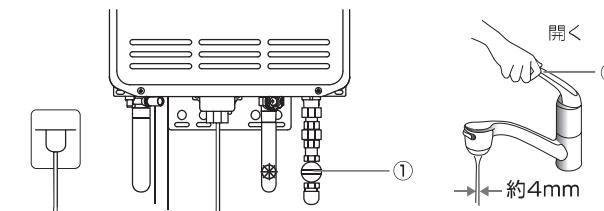
② 通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

リモコンがある場合は、リモコンを「切」にしておいてください。

- ガス栓を閉めます。
- 給湯栓を少し開けておきます。

流量が不安定になるため、30分後にもう一度流量を確認してください。



おねがい

寒い日は多めに水を流してください。

●サーモスタット式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、温度設定をもっとも高温にして開けてください。

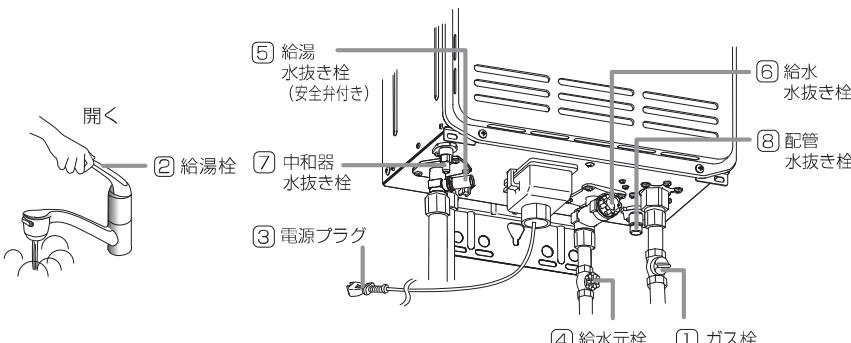


●再使用時の温度設定にはご注意ください。

凍結を防ぐには

③ 機器内の水を抜く方法

リモコンがない場合	リモコンがある場合
① ガス栓 ① を閉めます。	① ガス栓 ① を閉めます。
② いすれかの給湯栓 ② を全開にします。	② リモコンを「切」にします。
③ ②の操作より約30秒以上経過したら、給湯栓を開いたままで電源プラグ ③ を抜きます。	③ 電源プラグ ③ を抜きます。
④ 給水元栓 ④ を閉めます。 (不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。)	④ 給水元栓 ④ を閉めます。
⑤ 全ての給湯栓 ② を開けます。	⑤ 全ての給湯栓 ② を閉めます。
⑥ 給湯水抜き栓 ⑤ をはずします。 給水水抜き栓 ⑥ をはずします。 中和器水抜き栓 ⑦ をはずします。 配管水抜き栓 ⑧ をはずします。	⑥ 給水水抜き栓 ⑥ をはずします。 中和器水抜き栓 ⑦ をはずします。 配管水抜き栓 ⑧ をはずします。
※⑤～⑧は順不同	※⑤～⑧は順不同
再使用するまでこのままにしておきます。	



！警告

ぬれた手で電源プラグを触らない。
すでに雨が降り出している場合は、
電源プラグを抜かない
→感電のおそれがあります。



おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。(わからない場合はお買い上げの販売店かもよりの大坂ガスにご相談ください。)

！注意

水抜きの作業は機器が冷えてから行う
→お湯の使用後は機器内のお湯が
高温になっているため、やけど
のおそれがあります。



※手順通り行わないと、器具が凍結し、破損事故の原因になります。

水抜き後の使いかた

- 電源プラグ ③ をコンセントに差し込みます。
- 給湯水抜き栓 ⑤・給水水抜き栓 ⑥・中和器水抜き栓 ⑦・配管水抜き栓 ⑧を閉めます。
- すべての給湯栓 ② を閉めます。
- 給水元栓 ④ (または不凍栓) を開け、水抜き栓周辺に水漏れがないことを確認します。

※水抜き後、最初にご使用するときに空気を含んだ水（お湯）が勢いよく出ることがありますのでご注意ください。

※水が出ない場合は、凍結していることが考えられますので下記の操作を繰り返してください。

給湯栓 ② を閉め、電源プラグ ③ を差し込んだまま、約30分後にもう一度給湯栓 ② を開けます。

- 13ページの「使用前の準備と確認」から始めます。

*再使用時にまず、上記の操作を行わないとエラーになる場合があります。

凍結したときは

- 凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
- 凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してからお使いください。
- 凍結防止せずに凍結して、機器を損傷されたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

型番	133-P500型					
型式名	Q-22-1 (PH-EM164EWHL(OG))					
接続	給水・給湯	R1/2 (15A)				
	ガス	R1/2 (15A) TU接続可能				
電源	消費電力	44W(50Hz/60Hz)				
	待機時消費電力	2.6W				
	使用電源	AC100V (50Hz/60Hz)				
	電源コード長さ	1.5m				
	凍結予防ヒータ	73W				
種類	給湯方式：先止め式 給排気方式：屋外用					
設置方式	屋外壁掛式 (PS設置可能)					
本体(器体)寸法	高さ520×幅350×奥行215mm					
質量(本体)	19kg (満水時の質量20kg)					
点火方式	放電点火式					
給湯温度制御	比例制御					
最低作動水量	2.5L/分					
水圧	使用水圧：80～1000kPa (0.8～10.0kg/cm ²) 最低作動水圧：10kPa (0.1kg/cm ²)					
安心・安全機能	立消え安全装置・過熱防止装置・空だき安全装置・残火安全装置・過圧防止安全装置 空だき防止装置・漏電安全装置・凍結予防装置・沸騰防止装置・電流ヒューズ 中和器詰まり検出装置・ファン回転検出装置・停電安全装置					

*最低作動水量は、入水温や設定温度により増加する場合があります。

使用ガス (ガスグループ)	器具名	型式名	ガス消費量 kW	出湯量(最大)L/分		
				25℃ 上昇	40℃ 上昇	55℃ 上昇
都市ガス用 13A	PH-EM164EWHL(OG)	Q-22-1	31.0	16.0	10.0	7.3

保管とアフターサービス

保管(長期間使用しないとき)

水を抜きます。(「凍結を防ぐには」41ページ参照)

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見ても一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスまでご連絡ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- ご住所・お名前・電話番号
- 道順・付近の目印等
- 現象…エラーコードなどできるだけ詳しく
- 型番…機器正面に貼り付けてある銘板をご確認ください。また、下記のようなラベルが機器の正面右端に貼り付けてあります。

(N) 133-P500
大阪ガス株式会社



転居される場合

ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店かもよりの大坂ガスまたは、転居先のガス事業者にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
*ただし、ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間内でも修理費をいただくことがありますので大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの大坂ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
- 補修用性能部品く性能を維持するための必要な部品>の保有期間は、当商品製造中止後10年です。但し保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

BL認定部品について

優良住宅部品(BL認定部品)は、住宅に設置する場所(適用範囲)を設定して認定基準などが規定されています。そのため、BL認定部品を適用範囲外で使用される場合には、優良な部品としての性能が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品(BL認定部品)の適用が受けられなくなります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。

[例] 13・03 - 123456
製造年月 製造番号
(2013年3月)



お問い合わせ先

大阪ガスのお問い合わせ先

〈お客さまセンター〉

- 大阪リビング営業部 〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 電話 0120-0-94817
- 南部リビング営業部 〒590-0973 堺市堺区住吉橋町2-2-19 電話 0120-3-94817
- 北東部リビング営業部 〒569-8569 高槻市藤の里町39-6 電話 0120-5-94817
- 兵庫リビング営業部 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8-2 電話 0120-7-94817
- 京滋リビング営業部 〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93 電話 0120-8-94817

※ 受付時間は、平日9:00～19:00、日祝日9:00～17:00となっております。

※ お電話のおかけ間違いのないようお願いいたします。

※ 所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。



ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）もよりの
大阪ガスにご連絡ください。